

向陽台病院インフォマガジン

# こもれび

冬

第28号

発行：2011年1月1日  
向陽台病院広報委員会



お正月をイメージしてデイケア・病棟の患者さんたちが制作した作品です。

## 向陽台病院の理念

心を病む人の立場に立った専門的精神科治療の提供を行う

地域への精神科医療の啓発活動を通じて心を病む人のみならず、地域住民の心の健康増進に貢献する

- 地域の様々な資源との連携の強化を目指します—医療・福祉・教育・産業・地域社会と積極的な連携が出来るように—
- 良質で安全な医療の提供を目指します—相手の立場に立ち、私達が安心して自分の家族を任せられるように—
- 専門性を高め、より高度な知識・技術の向上を目指します。—新しい技術・知識の習得、研鑽を心がけるように—

## CONTENTS

- 新年のごあいさつ
- 第18回向陽台病院文化祭
- イベント参加レポート
- 九州集団療法研究会レポート

# あけましておめでとうございます



理事長・院長  
横田 周三

旧年中は大変お世話になりました。

さて、昨年は病院住所が鹿本郡から熊本市へと変更になり、新しいさまざまな機関および方々と出会い、同席させていただいたことは、新鮮で刺激的な一年だったように思います。病院の中も、児童思春期ユニットの増床など新たな展開や安全管理の充実を目指し、福祉事業においては社会復帰に向けた施設運営や就労継続支援での訓練などを行ってきました。結果が残せている部分と残せていない部分があり、私どもが地域や社会から求められている役割が、果たしているのかと、現実との差異を目の当たりにしたことも多々ありました。今年は新幹線の開通もあり、流通や情報を含めて色々なものが病院の中にも入ってくると思います。それらを判断し、活用するのはあくまで私たち自身であることを肝に銘じ、48年目になるこの一年を前進できるように、職員一同精進したいと考えています。日ごろのご支援を感謝申し上げるとともに、今年もよろしくお願いいたします。



事務部長 左座 道也

2 昨年は、3月に熊本市と合併し、当院にとっても新たな1ページを刻んだ一年となりました。院内においては、体育館が10月に完成し、入院・外来患者さまにご利用いただき、大変喜ばれております。そして、病棟・体育館建設などにおいてのハード面的な進化は一段落しました。今後は患者さまへのソフト面の充実を行うべく、職員一同さらなる「心・技・体」の向上に取り組んでまいりたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



診療部長 佐藤 秀史

昨年は児童・思春期部門の充実に努め、診療を行い、外来・入院数とも増加しております。皆さまのご期待に応えるべく、尚一層の充実を図っていきます。また、昨年は修正型電気けいれん療法の施行数の増加もあり、入院のシステムとしても十分に確立してまいりました。修正型電気けいれん療法のみならず、今年もご紹介を受けたケースはできる限り引き受けさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



リハビリテーション部長 植村 照子

リハビリテーション部は、総勢40名近くのスタッフが、病棟、デイケア、地域連携室に所属し、病院目標に向かって努力してまいりました。おかげさまで、新しいリハビリテー

ションプログラムも展開でき、たくさんの患者さまに喜んでいただきました。地域連携においては、いろいろな立場の方との地域ネットワーク作りを行っております。これもひとえに皆さま方のご指導の賜物と思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



看護部長代行 南 精治

昨年は体育館が完成し、治療プログラムの中で、スポーツやレクリエーションにおいて活用していただいています。また、南3病棟の児童・思春期ユニットも11床から20床へと増床し、思春期プログラム、ミーティング、学習支援などの活動に積極的に取り組んでいます。今後も看護部として治療のお手伝いができるよう努力して行きたいと思っています。



社会福祉事業 管理部長 林 邦雄

社会福祉事業といたしましては、スタッフのがんばり・病院・関係機関のご支援のおかげを持ちまして無事に一年間を過ごすことができましたことを深く感謝申し上げます。新年を迎えるにあたり、「地域生活支援センターなでしこ」・「居宅就労支援事業所」の各事業のさらなる発展を目指して、利用者の「安全と安心」を第一にスタッフ一同、尚一層がんばる所存でございます。病院をはじめ関係機関の益々のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げ新年のごあいさつとさせていただきます。



# 文化祭

11月3日（文化の日）に、第18回向陽台病院文化祭を開催しました。天候を心配していましたが、当日はやや肌寒かったものの秋晴れの中で開催することができました。今回は昨年10月に完成した体育館をメイン会場とし、患者さん・ご家族・来賓の皆さま、また、託児所の子どもたちと、多くの参加がありました。

午前中は、一人で行われているとは思えない素晴らしい影絵劇と、デイケア利用者によるコーラスを行いました。コーラスは輪唱もあり、日ごろ活動で練習した成果を十分に発揮していました。影絵と歌で、観覧の皆さんは目で見、耳で聴いて楽しんでいたように思います。

午後は食バザー・フリーマーケットを行い、各々好みの食べ物に舌づつみを打ち、日用品・衣服などさまざまな商品の中から目当ての物を兼ねて購入されていました。予定より早く完売したり、行列ができたりと、それぞれの場所で活気が感じられました。また、スタッフや患者さま同士の談笑する姿もあり相互交流の場になっていました。

新しい場所での開催だったため、さまざまな課題がみられましたが、楽しく、無事に終了し、良き文化祭になったのではないかと思います。今後も地域の方を含



めたより良い文化祭を企画していきたいと思っていますので、来年は皆さまもお気軽にご参加ください。お待ちしております。

（レクリエーション委員会  
委員長 田上 慎也）

## まつぼっくり劇場のご紹介

今回の文化祭では、体育館の落成記念イベントも兼ね、患者さん、地域の皆さんに楽しんでいただけの企画として人吉影絵劇サークル「まつぼっくり」さんをお招きしました。

ここで「まつぼっくり」さんのことを少しご紹介いたします。



人吉影絵劇サークル「まつぼっくり」は、昭和48年3月1日、人吉・球磨の大学、高校生をメンバーに、影絵劇の専門サークルとして誕生しました。創立から現在まで、37年もの間活動され、くまもと県民文化賞をはじめ数々の賞を受賞されている熊本県が誇る影絵劇団です。

今回は、「まつぼっくり」創立時のメンバーであり、代表でもある梶原伸さんによる特別作品、『ちいさなまつぼっくり劇場・おはなしおじさん』を公演していただきました。影絵と歌とお話を一度に楽しめる「ひとり舞台」で、1時間息を切らせず、どんどん進んでいく舞台に、託児所の子どもたちをはじめ、患者さんたちにも楽しんでいただけたのではないかと思います。また機会があれば、今度は大きな舞台も観てみたいというご意見もいただくことができました。

（企画広報室 室長 村上 信幸）



# イベント参加レポート

## 心の健康フェスタ

11月14日(日)に熊本交通センターイベントスペースにて、心の健康フェスタ・第18回精神障がい者作品展が開催されました。

「向陽台病院」の作業療法の作品展示、「地域生活支援センターなでしこ」から創作活動の作品展示・販売という形で参加しました。天候にも恵まれ、関係者よりも一般の方が多く足を止めてくださっていたようです。展示や販売の他に、統合失調症の幻聴・幻覚体験などのブースも設けられ、精神障がいへの理解が一般の方に深まりやすい内容になっていました。向陽台病院となでしこは、展示での入賞は逃しましたが、啓発活動とその一環としてのもの作りを実感できた貴重な場でした。

(地域生活支援センターなでしこ  
精神保健福祉士 吉本 茜)



## ふれあいピック

10月29日(金)にパークドーム熊本で開催された、第17回ふれあいピックに、デイケアメンバー14名、スタッフ3名で参加しました。県内各地から運営スタッフも含め1200名を超す参加があり、10時半ごろ会場に着くと多くの

人でにぎわっていました。

当院は山鹿・鹿本地域のチームで参加しました。競技は6種類あり、全ての競技に参加する方もい

ました。一生懸命取り組みましたが、総合順位は上位3チームに入ることとはできず残念でした。

参加メンバーからは「疲れたけど楽しかったです」など前向きな感想が聞け、充実した日になりました。

(リハビリテーション部

作業療法士 堀 智一)

## 熊本市ミニバレーボール大会

10月21日(木)に第36回熊本市・熊本市精神科病院会スポーツ大会が開催され、熊本市内の17病院22チームが参加しました。向陽台病院からはデイケア16名、病棟4名の計20名の参加でした。熊本市に合併してから初参加ということもあり、スタッフはどのような大会なのか、どのような雰囲気で行われるのか分からない状態でしたし、患

者さんたちも体育館が使用できるようになってから日も浅く、練習という練習もできないままでの本番を迎えることになりました。しかしスタッフの心配をよそに、結果は初出場3位と大健闘し、盾と賞状を病院に持ち帰ることができました。また今後も参加し、優勝を目指したいと思います。

(リハビリテーション部

臨床心理士 二宮 宗三)



## 第48回精神保健福祉大会

10月15日(金)に御船町で第48回精神保健福祉大会が、平成音楽大学学生によるサクソ四重奏で始まりました。「診療室から見た思春期の心の問題とその対応」と題し福岡大学医学部の西村良二教授の講話がありました。先生の話はとても興味深く、思春期の発達段階で直面する課題が時代背景、生活環境の影響

を受け、複雑化し、親世代が味わったことのない課題を抱え、対応が変化してきているというお話がありました。また、デイケアでの外出プログラムを通じ、紅葉やコスモスで秋を感じ、旅館での会食、音楽鑑賞という芸術に触れ、有意義な一日となりました。



(リハビリテーション部  
精神保健福祉士 後藤 加菜)

## 地域福祉フェスティバル音楽会

9月11日(土)に熊本市植木町文化センターで「植木町第2回地域福祉フェスティバル音楽会」が開催されました。デイケアではいきものがかりの「YELL(エール)」を歌唱しました。

毎週木曜日の音楽活動時間に練習を行い、本番2週間前からはメンバーとスタッフと一緒に毎日

練習を重ねてきました。今までの曲とは違い、ハモりに初挑戦だったので、上手に歌えるかとても心配でした。前日には会場でリハーサルを行い、帰院してからもまた練習をするくらい気合い十分で、当日はいつもより早い時間に集合し、会場へ向かいました。お揃いの紺色のTシャツに身を包み、植村部長の指揮の下、メンバーのピアノ伴奏に合わせて、とても緊張しましたが、気持ちよく歌うことができました。発表の後は、社会福祉施設の展示物を見たり、違う団体の発表を見たりと楽しく過ごしました。昼食はボランティア団体によるだご汁とおにぎりの炊き出しがあり、外

の芝生でシートを広げ、皆でおいしくいただきました。おかわりもできたので、大盛りのだご汁を2杯食べている方もいました。メンバーの感想も「楽しかった」「上手に歌えたと思う」など、参加して良かったとの声が聞かれました。活動で練習してきたことをたくさんの方の前で発表することは緊張もするけれど、うまくできた時に自信に繋がると思いました。またうまくいかないことがあれば、工夫をして次に生かすことができるようにしたいと思いました。皆さんの協力のおかげで良い経験をすることができました。ありがとうございました。

(リハビリテーション部  
准看護師 神戸 幸代)





# 九州集団療法研究会レポート



## 曾我部 美鈴

看護部 看護師

開催地である西海病院を訪れるのは2回目でした。リニューアルされたPICU・療養病棟などの施設見学の後、病院長である逸見先生の講演『病院も地域も、ともに成長しよう』という熱い思いが感じられた、今年も手ごたえのある内容でした。

当院からは、『児童・思春期ユニットに関わって感じたこと』の発表をさせていただきました。コメンテーターやフロアの方々から、たくさんの質問や、「たくましい」「がんばっていますね」などの労いやエールをいただき、落ちかけていた気持ちに、「また、明日からもがんばろう!」という勇気を少し持つことができました。

今年は当院が九州集団療法研究会開催病院となります。西海病院で収穫させていただいた思いを忘れず、多くの方々に満足して帰っていただけるよう、準備に取り組みたいです。

## 濱本 晋也

リハビリテーション部・臨床心理士

集団精神療法というと、心理教育や病棟ごとのコミュニティ

今年の11月に、第37回九州集団療法研究会が向陽台病院で開催することになり、当日の運営について確認する意味も含めて、長崎県は佐世保市にある西海病院へ全部署から総勢30名を超える多くのスタッフが参加しました。

ミーティングなど名称がついたグループを思い浮かべてしまうのですが、今回参加した分科会の中で、入院という構造自体が一つの集団精神療法場面なのだと改めて気づかされました。日々の臨床の中で、不明確になり始めていた輪郭線が、また少しくっきりとしてきたように思います。目に見えにくい、あるいは、当然のように目にして気がつきにくい出来事を、他者の言葉で聞き、自分の中で考える時間はとても貴重でした。

## 宮本 愛

診療部 管理栄養士

総会前に、療養病棟・外来診察室など各施設を見学させていただきました。病室は光を取り入れた開放的な作りになっており、共有設備として散髪用サロンや面会室なども完備され、患者さまへのサービス面が充実していると感じました。

分科会では、九州大学病院の横田謙治朗医師より、大学病院精神病棟の引越しエピソードをテーマとした発表をお聞きました。横田医師は病棟引越しの中で、物にも人の影を見る統合失調症の患者さまには、環境も重要な治療要

素の一つである、と感じたことを発表され、普段知る機会が少ない統合失調症患者の病状や感じ方などを学ぶことができました。

今年は当院での開催が予定されています。参加される方に爽やかな多い研究会となるようサポートを行っていききたいと思います。

## 植村 照子

九州集団療法研究会開催準備委員会

第37回九州集団療法研究会開催に向けて、各部の代表からなる委員会を設置しました。委員は西海病院での研究会に参加し、それぞれの役割に沿って見学研修をまいりました。西海病院は今回が3回目の九州集団療法研究会であり、多くのスタッフが目配り気配りをして、非常にスムーズに運営しておられました。私どもは初めてですので、11月までのスケジュールを立て、体育館などの施設を有効に利用し、充実した研究会になるよう計画していきたいと考えています。ご参加いただく皆さまに、研究会の盛会はもとより、本院や植木町を少しでも知って、楽しんでいただけるような企画ができたらと思います。

# こもれびプラザ

向陽台病院ではさまざまな情報を発信しています

## 栄養だより

### インフルエンザに負けない身体を作り、寒い冬を健康的に過ごしましょう。

例年、11月から3月の冬場はインフルエンザウィルスが流行する季節です。毎日の食事、手洗いやうがいなど、さまざまな予防策をご紹介します。

#### Q1.インフルエンザの症状は？

- ◎突然の高熱、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。
- ◎時には、合併症を伴い重症になることもあります。

#### Q2.インフルエンザの予防策は？

- ◎インフルエンザシーズン前にワクチン接種を受けましょう。
- ◎うがい、手洗いをしましょう。
- ◎室内の湿度を50～60%に保ちましょう。
- ◎バランスの良い食事と、十分な休養をとりましょう。
- ◎人ごみや繁華街への外出を控えましょう。
- 外出する時にはマスクを着用するとよいでしょう。

#### Q3.インフルエンザにかかったらどうすれば良い？

- ◎早めに医療機関を受診しましょう。
- ◎十分な水分と栄養をとりましょう。
- ◎安静にし、十分な休養をとりましょう。
- ◎周りの方へうつさないために、マスクを着用しましょう。

### インフルエンザに負けない身体を作る栄養とは？

皮膚や粘膜、免疫細胞の構成成分である蛋白質（肉・魚・卵・豆腐など）や、粘膜を正常に保ち感染症を予防するビタミンA（レバー・緑黄色野菜・卵など）、免疫細胞を増やし、活性化させるビタミンC（緑黄色野菜・果物など）などがあります。バランスのとれた食事を毎日とることが大切です。

（診療部 栄養士 四元 香）

## 動向を探る

向陽台病院を利用されている患者さんの動向を掲載しています。

（単位：人）

| 集計月       | 外来延数  | 新患者数 | 1カ月ごとの入退院者数 |    |
|-----------|-------|------|-------------|----|
|           |       |      | 入院          | 退院 |
| 2010年 9月  | 2,930 | 72   | 40          | 35 |
| 2010年 10月 | 2,954 | 64   | 37          | 45 |
| 2010年 11月 | 2,976 | 70   | 47          | 40 |

## そよ風

新年あけましておめでとうございます。

そよ風家族会の皆さまも良いお年をお迎えになられたことと、心よりお喜び申し上げます。

向陽台そよ風家族会は、平成13年5月19日に発足し、今年で10周年を迎えることになります。この間、時代の変化とともに、そよ風家族会の内容も変化せねばなりませんでした。ご家族の皆さまはもとより、病院職員の方々のご指導をいただき、試行錯誤を重ねながら今日まで成長してまいりました。

しかし、残念ながら年間4回開催されます家族会への参加者が少なく、その対応に苦慮しております。対策として、ご家族の方に周知することも必要ですが、まずはご家族が持っておられる問題点を吸い上げ、皆さまと一緒に少しでも解決できればと考えます。そのためには多くのご家族の参加が必要で、多ければ多いほど数多くの問題、悩みが提起され、家族会の内容も充実して、ご家族のお役に立つと考えます。具体的には、NPO法人全国精神保健福祉連合会の発行している「わたしたち家族からのメッセージ」という冊子の中にあります、家族会の大切な機能に支えあい（癒しあう）と学習活動、そして地域に働きかける運動の3つを柱として、これからも皆さまのお役に立つ家族会に育てたいと考えます。そのためにはご家族の皆さま、そして病院職員の方々のご指導をいただきながら今年もがんばりたいと思います。

最後になりましたが、今年もご家族の皆さまが良い一年であることを祈念いたしまして、ごあいさついたします。

（向陽台そよ風家族会 会長 萩尾 容山）

#### ◎次回（平成23年）の予定

- 日 時：1月22日（土）10：00～12：00
- 内 容：成年後見制度についての講演
- 日 時：4月23日（土）10：00～12：00
- 内 容：総会

## 編集後記

あけましておめでとうございます。昨年末には待ちに待った体育館の利用が始まり、今年もさまざまなイベントが計画されると思います。少しでも多くの情報を発信できればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。（須藤 晶子）

## 外来担当医一覧表

※下記担当医は変更する場合もございます

|      | 月              | 火       | 水                        | 木        | 金             | 土    |
|------|----------------|---------|--------------------------|----------|---------------|------|
| 午前   | 橋本<br>城野       | 松本      | 村上<br>橋本<br>大石           | 城野       | 横田<br>松本<br>北 | 週替わり |
| 午後予約 | 小山(一)<br>小山(裕) | 北<br>牛島 | 大石<br>鍋島<br>毎月1回<br>PM不在 | 村上<br>牛島 | 佐藤<br>小山(一)   |      |

(2011年1月1日現在)

- 診療科目 精神科・心療内科・児童精神科
- 特殊外来 児童思春期(発達障害)外来  
もの忘れ外来
- 病床数 220床
- 外来診療時間 ※祝日は平常どおり診療しています  
月～金曜日 午前9時40分～12時00分  
午後2時30分～5時00分
- 土曜日(再来のみ) 午前9時40分～12時00分

初めて診察を受けられる方は予約をお願いします

ご予約、お問い合わせ: 096-272-5250

&lt;平日: 午前9時～午後4時30分まで/土曜日: 午前9時～午前11時30分まで&gt;

## 【患者の権利】

1. 良質な医療サービスを平等に受ける権利があります。
2. 人格・意思が尊重され、人間としての尊厳を守られる権利があります。
3. 自分自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。
4. 医療従事者から説明を受けた後に、提案された診療計画などを自分で決定する権利があります。また、他の医療機関の医師の意見(セカンド・オピニオン)を求める権利があります。
5. プライバシーを尊重される権利があります。



## 産交バス

向坂バス停から  
徒歩3分  
投刀塚バス停から  
徒歩3分

## 車

植木ICから10分

## JR

植木駅下車  
タクシーで6分

## 医療法人横田会 向陽台病院

〒861-0142 熊本県熊本市植木町鑑田1025  
TEL: 096-272-7211 FAX: 096-273-2355

<http://www.koyodai.or.jp/>

日本精神神経学会専門医研修指定病院 日本精神科病院協会認定専門医研修病院  
2005年から財団法人日本医療機能評価機構の認定を受け、2010年にVer.6.0で再認定されています。

